

挑戦

～希望に満ちた宮崎の実現～

No.632 2018 JCNEWS Miyazaki



トピックス

- 第57代 宮崎シニアクラブ会長 年頭のご挨拶
- 第67代 宮崎青年会議所理事長 年頭のご挨拶
- 2018 理事役員のご紹介

事業報告・インフォメーション

- 家族晩餐会開催のご報告
- 太鼓同好会総会開催のご報告

- 新年挨拶会のご案内
- 連載 ヘルプ・ザ・ヘルパー方式①

理事長 年頭所感 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。



一般社団法人
宮崎青年会議所
第67代理事長
長友 剛

謹んで新年のご挨拶申し上げます。旧年中は、格別なるご高配にあずかり、厚く御礼申し上げます。皆様におかれましてはつつがなく新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年はいよいよ公益社団法人日本青年会議所第67回全国大会宮崎大会を開催する年となります。2015年の立候補から今日に至るまで、先輩諸兄をはじめ、行政や各種団体の皆さまからの多大なるご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

開催年度を迎えるにあたり、一般社団法人宮崎青年会議所の活動に対しまして、これまで以上のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さて、人口減少社会へと突入し様々な環境が変化する中、全国各地で様々な政策が打ち出され地方創生への機運が高まっています。しかし、それを推し進める国の施策も決して万能とは言えません。交通インフラの整っていない、経済力の乏しい地域の未来ビジョンは決して明るいとは言えず未だ確かな希望を見出せないままです。そんな時代だからこそ、我々JAYCEEが声をあげ、青年の大胆な発想と行動力により未来を切り拓いていかなければなりません。

本年、宮崎青年会議所は、『挑戦～希望に満ちた宮崎の実現～』をスローガンに掲げ、全国大会をはじめ、まちづくり、ひとづくり、JCづくりを通して、愛するこのまちに確かな希望を創造して参ります。

いよいよ当該年度。ここから先は誰も経験したことのない未踏の地。青年らしく青く、誠実に真っすぐに未来へと挑戦することをお約束致します。最後に2018年が皆様にとって希望に満ちた輝かしい1年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

縁寿

2018年がいよいよスタートです。これまでの活動が花開く『一念通天』現実の年、2018年全国大会宮崎大会です。長友理事長のリーダーシップとそれを支えるメンバーの皆様の御活躍で素晴らしい成果が上がりますよう心より祈念申し上げます。

私たちの住む宮崎県とは・・・プロスポーツ宿舎・キャンプ地、最高の農作物、海産物、畜産物そして”神話の国”。

太平洋の大海原と神々の宿る山からの豊富な資源に恵まれ、その自然の中で育まれた人の優しさに恵まれ、神々の恩恵までも身近に与っている聖地宮崎。このことが様々な形で、日本で世界で承認されました。2017年10月には鶴戸神宮一帯が国指定名勝「鶴戸」として指定され「高千穂郷・椎葉山地域」は『世界農業遺産』として認定され「祖母・傾・大崩山系」、「綾地域」は『ユネスコエコパーク』に登録されました。次々に宮崎の自然環境の素晴らしさ、豊かさ、美しい景観、伝統文化・様式の継承が承認されています。世界中で地球温暖化、生物多様性の縮小などが進行し、人々の生活や産業の基盤となる自然が崩れつつあると言われている中、宮崎の健全で豊かな自然環境をありのままにお伝えしていくカタチも”おもてなし”として大切ではないでしょうか。人間の原点である“自然”の中で生活し支えられている宮崎はまさに、人間と自然が共存する国です。ネットワークやプラットフォームなどの新しい技術や皆さんの行動力でネットワークを作ることも不可欠です。志を同じくする人々とのネットワーク、そして先輩をはじめとし多くの人たちと出会い、多くを教わり、新しい出会いから発見があることで、明日への活力を見出せます。その活力は宮崎県の恵まれた自然環境によって育まれている事を全国から集まるJCの同志にお伝えしようではありませんか。心に、地域に、壁のない”宮崎づくり”はこれからも必要です。宮崎JC一丸となり実りある一年となりますよう、心から祈念申し上げます。

2018年も何卒宜しく願い申し上げます。



宮崎JCシニアクラブ
第57代会長
米良 充典

2018年度 理事役員のご紹介

2018年度スローガン「挑戦～希望に満ちた宮崎の実現～」



理事長
長友 剛
(株)友和産業開発



直前理事長
川越 道貴
(株)だいきち



全国大会実行委員長
川越 英和
(株)赤玉商事



副理事長
黒田 福太郎
(株)クロダ保険



副理事長
貴島 大樹
貴島緑地建設(株)



副理事長
増田 祐介
(株)増田工務店



副理事長
平沼 正義
(株)ヒラヌマ



専務理事
関谷 祐作
第一ビル工事(株)



監事
野崎 偉史
野崎漬物(株)



監事
横山 和明
風光るゆめの森



総務グループ
担当常任理事
坂元 信之
企業組合介護福祉サービスひばり



宮崎づくりグループ
担当常任理事
前田 義也
(株)いけうちゴルフ



人財グループ
担当常任理事
白坂 浩祐
(株)白坂ファーム



連携グループ
担当常任理事
黒井 浩史
(株)黒井組



全国大会グループ
担当常任理事
植松 剛史
植松商事(株)



総務委員会
委員長
河野 幸治
(株)河北



財政広報会議
議長
西岡 幸則
(株)西岡商店



ひむか神話発信委員会
委員長
鈴木 英寿
(株)矢野興業



国際フェスティバル委員会
委員長
杉尾 一樹
ソニー生命保険(株)



スポーツランド宮崎推進委員会
委員長
網代 真人
ガールズバー Lie



全国大会統括議会議長
岩倉 誠吾
(株)イワクラ



全国大会広報渉外委員会
委員長
金本 純一
(株)金本組



会員拡大推進議会議長
川越 大輔
(株)川越紙店



JAYCEE 育成委員会
委員長
小齊平 篤志
宮崎ユニット工業(株)



未来の人財育成委員会
委員長
原田 真人
(株)CMYK



ともに創る宮崎のまつり委員会
委員長
弓削 美由紀
江平電気(株)



J C 連携委員会
委員長
矢野 友教
(株) Wood project



オール宮崎 J C 委員会
委員長
田中 寛一
Bar Can

連載

ヘルプ・ザ・ヘルパー方式① ー優れたチームを作り出す秘訣ー

財政広報会議 布谷崇

『ザ・レスポンス・マガジン 2018年1月号』に「リーダーシップの真実」という記事が掲載されていましてご紹介させていただきます。内容にボリュームがありますので、要約したものを1月号と2月号の2回に分けて掲載したいと思います。ぜひ参考にしてください。

■ 組織はカリスマ・リーダーが率いた方がうまくいくのか？

インディアナポリス・コルツ（アメリカンフットボールのチーム）の伝説的なクォーターバックであるペイトン・マニングやアップル社のスティーブ・ジョブズのように、圧倒的なカリスマ・リーダーの存在が、チームや企業（以下、単に「チーム」と呼ぶ）の成績の著しい成長をもたらしたとして称えられ、クローズアップされることがしばしばある。例えば、前者の場合は出場試合の勝率が7割を超え12シーズンの内11シーズンがプレーオフに進出するなど弱小チームが驚異的な成績を収めることに成功した。また後者はいうまでもなく世界を代表する業績を収めている。このようにカリスマ・リーダーの存在により、チームの士気が上がり大成功に至ることが多い。このように、グループを指導し、士気を高め切り盛りする一人の個人を圧倒的に重んじることを「1次チームワーク」（ヒーロー陶醉型チームワーク）とよぶ。

このチームワーク形態ではチームがリーダーを信頼した結果、業績が急上昇することもあれば、暴落することもある。また、リーダーがチームから離れた場合には業績が間違いなく急落することになる。よって「1次チームワーク」では究極のチームワークは生まれない。

■ 研ぎ澄まされた制度や戦術がチームワークを生むのか？

1次チームワークに対して、最高のパフォーマンスが実現している理由は、膨大な時間をかけて方針を維持してきたからだとするのが「2次チームワーク」（戦術盲信型チームワーク）である。例えば、NFLを例にすると”球団ハンドブック”（プレー、オフェンスの原則、ディフェンスの原則、規則（髪型や門限、チアリーダーとの交際禁止）が書かれたもの）などである。「それはうちのやり方じゃない」というフレーズは2次チームワークを優先する組織で飛び交う典型的な表現である。2次チームワークは「過去の遺物」と呼ばれる習慣である。その習慣は元々その実用性から生まれたものであったはずである。しかし、それが伝達されて元の状況から離れたところで繰り返されていくうちに、メッセージの本質が失われたり、価値が下がったりしてしまうことになる。このように言動は受け継がれるが、思慮深さはそうではないのである。

組織の構造や戦略をリーダーシップの主たる源として重視すると、イノベーションもイニシアチブを取ることも抑え込まれてしまう。イニシアチブを取るものが常習的に欠如していること（非凡な人たちが「平凡な」成果しか上げられないこと）が2次チームワークの致命的な欠点である。

■ 家族晩餐会開催のご報告

総務委員会 セクレタリー 大嶋慎弥

2017年12月17日（日曜日）、シーガイアコンベンションセンターにて12月例会・家族晩餐会が開催されました。家族晩餐会にてプレジデントシャトルリース交換式が行われ、歴代理事長の皆さまにお手伝いいただき、川越理事長から長友理事長予定者へとプレジデントシャトルリースが厳かな雰囲気の中、引き継がれました。また、委員会対抗借り人ゲームやMiyazaki Award 2017などメンバーや家族との交流を積極的に行い、マジックショーやバルーンアートショーでは子どもたちの歓声が響き渡る和やかな雰囲気家族晩餐会となりました。多くの協賛品の提供もあり、盛況なうちに抽選会も行われ、笑顔溢れる家族晩餐会となりましたことを心より御礼申し上げます。2018年度全国大会宮崎大会へ向けて、家族の支え、理解が不可欠となる今、多くのメンバー、家族に参加いただき盛大な家族晩餐会を開催できたことは、成功への一歩に繋がったと思います。メンバーをはじめとする多くの方にご協力いただき、ご尽力いただいたことを心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



<p>大地に根ざす企業を目指して</p> <p>総合建設業</p> <p>株式会社 増田工務店</p>	<p>砂糖・小麦粉・雑穀・澱粉 油脂・製菓製パン原材料</p> <p>食品卸業</p> <p>NISHIOKA</p> <p>株式会社 西岡商店</p>	<p>特定建設業</p> <p>株式会社 友和産業開発</p>	<p>貴島緑地建設(株)</p>
<p>気になる 看板 作ります!</p> <p>CMYK Co.,Ltd. communication item</p> <p>株式会社 シーエムワイケー 〒880-0844 宮崎県東臼杵町104-1 Tel.0985-61-7792</p>	<p>株式会社 F・C 測量業・地質調査業・建築業・総合人材派遣業</p> <p>株式会社 F・Cガード 警備業・セキュリティ事業・規制制り事業・空撮業</p>	<p>NK</p> <p>ナントック株式会社</p>	<p>emirai club snack</p>

■ 卓越したチームはみんなやっている「ヘルプ・ザ・ヘルパー」方式

優れたリーダーシップの資質とトレーニング方法を備えた人物は必要である。また経験から引き出され、じっくり練られた戦術、自信を与える効率的なシステムも欠かせない。しかし、飛躍するチームは、その一歩先に行く経営の優先課題として、「3次チームワーク」(究極の助け合い型チームワーク)を追求するのである。

例えば、レストランでうっかりスプーンを落としてしまったとして、すぐ近くのテーブルを担当するウェ이터が通りかかったところで呼び止めて、新しいスプーンが欲しい旨を伝える。そのとき、普通のレストランなら「お客様の係の者にお伝えします」と返事をする。良いレストランなら、呼び止めたウェ이터が「すぐにお持ちします」と言い、速やかに代わりのスプーンを持ってきてくれる。最高のレストランなら、スプーンが床に落ちた瞬間、近くにいるウェ이터や支配人が気づき、間髪入れずに飛んできて、新しいスプーンを渡してくれる。彼らにとって、客がスプーンを落としたことは、レストラン全体の問題なのである。こういう連携プレーについて、世界的な優良企業は顧客や業者、その他の利害関係者に提供している。その秘訣を探ったのが、『10年勝ち続ける最強チームの作り方』の著書、ジョン・エリオット博士とケビン・プリチャード氏の2人である。彼らは有能な集団を築き上げるために、チャンピオンや優勝常連チームを作り出す要因を調べ上げた。真に優れたチームは、業種にかかわらず、鉄則ともいえるべき1つの共通点を持っているという事実にとり着いたのである。

その共通点とは”他者の成功に進んで手を貸そうとする確固たる意志”(つまり、「ヘルプ・ザ・ヘルパー」(バスケットボールでディフェンスをする際にヘルプに行った選手をさらにヘルプする人のこと。三人目のヘルパー))の精神である。卓越した企業は、この意志を、最高のレストランと同様、業種に対する燃えるような情熱へと高めているのである。

つまり、3次チームワークこそ、パフォーマンスの「真の源」である。

【参考資料】『ザ・レスポンス・マガジン 2018年1月号』P4～P9

最強のチームワークとは？

第1次チームワーク

グループを指導し、士気を高め切り盛りする一人の個人を圧倒的に重んじる。

第2次チームワーク

膨大な時間をかけて方針や戦略を確立し維持することを重んじる。

第3次チームワーク

”他者の成功に進んで手を貸そうとする確固たる意志”「ヘルプ・ザ・ヘルパー」の精神。

■ JC 太鼓忘年会・卒業式のご報告

※ 太鼓同好会 2017 年度幹事長 西岡幸則

2017年12月21日に太鼓同好会忘年会・卒業式を宮崎観光ホテルにて開催させていただきました。多くのシニアの先輩方にご参加いただき、2018年で50周年を迎える太鼓同好会の歴史などの談議に花を咲かせることができました。

そして、卒業式では9名の卒業生へ卒業証書、記念品、花束が手渡され、太鼓同好会活動における今までの思い出話に会場が笑いと涙で包まれました。また、2018年度役員発表において関谷隊長より、全国大会宮崎大会と太鼓同好会50周年に向けての意気込みを話していただきました。

御出席頂きました先輩方ありがとうございました。そして1年間数多くの練習、出演などにご協力頂いたメンバーの皆様、ありがとうございました。



<p>住宅総合建材 販売・施工 石田トーヨー住器株式会社 〒880-0044 宮崎県宮崎市大字瓜生野3883番地 TEL/FAX 0985-41-0100/0985-41-0800 http://www.lifix-madollor.jp/5000137/</p>	<p>(企)介護福祉サービス ひばり </p>
<p> 株式会社アルファ ALPHA</p>	<p> 有限会社 サンライフ技建 SUNLIFE</p>
<p> J.FC MIYAZAKI</p>	<p>Girl's BAR </p>
<p> 野崎漬物株式会社</p>	<p> A(有)クロダ保険 Kuroda Insurance Agency Co.,Ltd.</p>

自動販売機の **だいきち**
設置店舗募集中!!
お問い合わせ
☎0985-75-1245


Can Bar

 **AKADAMA**
有限会社 赤玉商事

 第一ビル工事株式会社

■ 新年挨拶会のご案内

※ 全国大会統括会議 議長 岩倉誠吾

京都会議の次の週に当たります、1月26日金曜日にシーガイアコンベンションセンターにて新年挨拶会を行います。今回の新年挨拶会は例年とは違い、全国から多数の仲間が駆けつけていただける予定となっております。正に全国大会の試金石となりえる重要な年明け一発目のメインアワーとなります。これは担当の委員会だけではとても遂行できるものではありません。LOMの力を新年より集結させて全国大会へ向け大きな一歩を踏み出せるように、また、シニアクラブメンバーの先輩方へ大きな門出を共に祝っていただける様、皆様のお力添えの程、どうぞよろしくお願いたします。そして、当日は前述の通り会頭を始め日本役員の皆様、九州各地 LOMより数々の理事長がお見えになります。年初より宮崎のPRをする絶好の機会となっておりますので一人ひとりがひなたの心を以て、おもてなしに当たってください。尚、例会とは別日となっておりますのでご注意ください。

全国大会経過・行事予定

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ● 1月4日(木)
事務局開き | ● 1月18日～21(木～日)
京都会議 |
| ● 1月6日(土)
宮崎神宮 厄払い | ● 1月23日(火)
全国大会実行委員会 |
| ● 1月9日(火)
第1回理事会 | ● 1月25日(木)
第2回常任理事会 |
| ● 1月10日(水)
拡大会議 | ● 1月26日(金)
新年挨拶会 |
| ● 1月15日(月)
1月例会・総会 | |

JCシニアクラブ予定

- 1月26日(金)
新年挨拶会
- 1月29日(月)
世話人会

会員消息

【吉報】
特にありません

【訃報】
特にありません



この知識知ってましたか?

Q: 青年会議所とはどのような組織?

A: 青年会議所は、共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに誕生しました。青年会議所は「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、より良い社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいる組織です。

また、青年会議所の大きな特徴として、年齢制限(20～40歳)が設けられており、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。全国に設立された青年会議所の数は、2018年1月1日現在で695団体あり、その中で宮崎青年会議所は全国で26番目に誕生しました。宮崎青年会議所は、約200名の会員が在籍しており、日々切磋琢磨して明るい豊かな社会の創造のため様々な事業を行っています。

全国大会につながる年になりますように



明けましておめでとうございます。新年を迎え新たな目標をたてたり、今年こそはと願いに対する思いを強くされた方もいらっしゃるでしょう。

私は毎年元日におせちを食べながら「ニューイヤー駅伝」を見ています。去年、今年と旭化成の連覇に感激しました。黄金時代がまたやってくるような予感がします。来年も楽しみです。

今年は「戊戌(つちのえいぬ)」の年です。戌年は十二支のうち11番目あたり、もう少しでひとめぐりしようという頃で、季節に例えると晩秋らしいです。晩秋といいますが収穫を終え一息つく時期でもあり、今までを振り返り気持ちを切り替え、次なるステップへの準備の時期だといえるのではないのでしょうか。

ただ宮崎青年会議所に関しては晩秋の時期ではなく、LOMの事業も当然のことながら、全国大会主管という大変重要な仕事があります。今までのまたこれからの準備の大変さがありますが、大会が無事に盛会に終わることが何よりの収穫になるのではないのでしょうか。この機会を無駄にすることなく次なるステップに繋がれたらと思います。

年を重ねると一年が早く感じます。皆さんにとって今年が充実した年になります様に!

